



第8回 しすい駅フェス

8回目となる「しすい駅フェス」は、仮設駐輪場の役目を終えたJR酒々井駅西口広場に会場を戻し、8月最後の土曜日、31日に開催されました。前日午前中の大雨と降水確率50%の天気予報に気をもんでいましたが、当日は、一時日が差すほどの好天となり、予定通り、16時から21時まで大勢の人（延べ650人？）で賑わいました。

今回は、千葉市のスタジオ・エスパーニャを招き、普段ほとんど目にする事のないフラメンコを披露していただいたほか、昨年も参加いただいた紙芝居で酒々井の民話を楽しみ、ジャズ演奏でおもわず昔覚えたステップを踏んだり、藤原けいさんによる歌を楽しみ、酒々井音頭他の盆踊りの輪に加わるなど、子供から年配者まで堪能していただいたのではと思います。また、町内で活動されている方々の協力による出店も多く、飲んだり食べたり遊んだりとこちらも楽しんでいただけたのではと思います。



参加いただいた方から感想の文書をいただきましたので、下欄にご紹介させていただきます。

最後になりますが、ご来場いただいた方々、プログラムにご参加いただいた方々と準備作業から後片付け迄長時間にわたりご協力いただいた町役場の方々に厚く感謝申し上げます。



次回の駅フェスは、駅前イルミネーションの点灯式の日に合わせての開催を予定しています。

(来場の方からいただいた感想)

私は娘家族の住む酒々井町に引っ越して来て日が浅く、まだ知り合いも多くは居ません。早朝のラジオ体操に参加したところ夕方の駅フェスに誘われて行ってみました。紙芝居を見て子供に還り、しげらぎ茶屋では牡丹餅を食べて久しぶりに楽しい思いをしてはしゃぎました。藤原けいさんの歌も楽しかったです。近所の人とも話をして顔見知りになりました。次の駅フェスを楽しみにしています。宜しくお願いします。

(中央台2丁目 飯笹様より)

2年ぶりのB-Net子ども夏祭りを終えて

「子ども達と一緒に作りあげる夏祭り」とは、どのようなものなのか、初めて運営に携わったこともあり、最初は不安でした。会議や練習を重ね、地域の方の支えもあり、無事成功を収めることができました。私は、ステージ班として、具体的には、地域で活躍している方々に出演依頼をし、当日行うゲームの内容や実施方法、景品等を考えました。試行錯誤した結果、祭り本番ではゲームに必死になる子供たちの無邪気な姿を見ることができたり、お祭りに来てくださった方から「楽しかったよ」と声をかけていただいたり、大きな達成感を得ることができました。普段あまり関わる事のない地域の方との関りは、とても新鮮でした。



B-Netの活動で、地域の方との関りや、今まで体験したことのないことでの体験ができ、新たな発見が多くあり自分の視野も広がりました。これからも色々な方との交流を大切にし、様々な体験をしていきたいです。
(NPO B-Net子どもセンター 順天堂大学 2年 加藤 千聖)

映画会を終えて

87歳の認知症の母と95歳の耳の遠い父と離れて暮らす一人娘が、一大決心をして作ったドキュメンタリー映画でした。見に来て下さったかたの多くは高齢者でしたが、小学生が一名、お祖母ちゃんと見に来てくれていました。

家族、夫婦、親子、介護、老いとは、認知症とは、見ている私たち一人一人が、それぞれの場面で、自分の生活状況に照らし合わせながら、時にはほほ笑みながら、時には胸を痛めながら、見ていたように思います。映画終了時には、皆さん思わず手をたたいていました。



伊豆神社と大杉 (いずじんじゃとおおすぎ)

伊豆神社は飯積の鎮守で、祭神は彦火々出見命(ひこほほでみのみこと)・木花咲耶姫命・誉田別命(ほむたわけのみこと)です。子安神社を合祀していて一般的には子安神社といったほうがよく知られています。拝殿は入母屋造りでその奥に鞘堂(さやどう)があり、その中に伊豆神社と子安神社の本殿二棟が安置されていますが、なかなか参拝することは難しいようです。境内には目通り周囲4.3メートル、推定樹齢700余年の大杉があり、酒々井町最古の樹木として町の天然記念物の指定も受けています。伊豆神社の創建年代、由緒などは不明ですがこの大杉は伊豆神社創建当時の植樹であろうと推定されています。合祀されている子安神社は安産の神として毎年3月19日の例祭には近郷から大勢の参拝者があったとのこと。近くに「泉の里」も整備されていますので、アウトレットへお出かけの折にでも是非寄られてみてはいかがでしょうか。



第4回 酒々井の千葉氏まつり開催

今年は、酒々井町が明治22年に誕生してから130周年を迎え、数々の記念行事が開催されています。この記念行事の一つとして酒々井の千葉氏まつりが、中央台公園を中心に10月6日に開催されます。

千葉氏まつりの起源は、1486年千葉輔胤によって本佐倉城が築城され、其の4年後の1490年に本佐倉城を取り巻く城下町が完成し、この完成を祝って、繁栄祈願するため、総鎮守である八幡神社(現大佐倉)の祭礼として行われるようになりました。

この祭礼では、「神輿の神幸(しんこう)」「ばか乗り」「競馬(きそいうま)」などの行事が400年近く、明治の初めまで盛大に行われていましたが、徐々に衰退し昭和の初めには、行われなくなりました。この他にも酒々井には、八坂神社(天王社)の祇園祭や麻賀多神社の秋祭りなどが盛大に行われていましたが現在では、全て途絶えてしまいました。

このため歴史ある酒々井町の祭礼を復活させ、酒々井がふるさとの方々にとっては、盛大に行われていた頃に思いを寄せて頂き、また、新たに酒々井に移り住んだ1世や、その子供、孫達には、酒々井町が素晴らしいふるさとと成ることを願い開催するものです。

町民の方々が酒々井の歴史や文化に触れ、意義深いふるさととの祭りとして定着するよう、町民皆で盛り上げましょう。



令和元年「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」の開催について

恒例となりました「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を、今年度も開催します。今年度は、フォーラムの準備として、各自治会役員の方々にお集まり頂き、各自治会の活動内容、活動上の問題点及び自治会を取り巻く環境などについてお話を頂きました。「町民の生きがいを持って楽しく暮らす酒々井町をつくるには、自治会活動がますます重要になること。また、自治会活動の推進により、住み易く安全で活力のある共助のまちづくりが出来ること。」などのご意見を頂いたことから、今年度は、子育て支援や高齢化時代に向かって重要となる「自治会」をテーマに取り上げ開催する事にしました。

自治会役員の皆様、OB、OGの皆様、町民の皆様、素晴らしい協働・共助の町、酒々井をつくるため「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」に是非ご参加頂きご意見をお聞かせください。皆で輝く創年になりましょう。



開催日、テーマの詳細等については、町発行の広報等でご確認ください。

編集後記

今回のシスウィッチでは、連載していた「自治会紹介」をお休みさせていただき、これに代えて順大生を中心として活動している「NPO法人 B-Net」が2年ぶりに開催した夏祭りに携わった学生の方からの寄稿を掲載させていただきました。

小型ながら強い台風15号により、大きな被害や多大なご不便を被られた方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。

